

Q&A

Q1 学校生活管理指導表が未提出にも関わらず、保護者からアレルギー対応を依頼されました。どのような対応をすればよいですか。

A1 学校では、医師の診断に基づき、学校生活管理指導表が記載されなければなりません。

そのうえで、保護者と教職員が十分な協議を行い対応することができます。この旨を保護者に伝え、理解を得るようにし、アレルギー対応を進めるようにしてください。

Q2 保護者から緊急時処方薬（内服薬、吸入薬、エピペン等）を学校で預かってほしいと依頼があった場合、どのような対応をすればよいですか。

A2 緊急時処方薬は、本人による管理・使用が基本となります。しかし、それができない

状況である場合、保護者、医師、学校、管轄の教育委員会、学校薬剤師等と十分な協議を行う必要があります。また、エピペンを児童生徒自らが注射できない場合は教職員が注射することは可能ですが、それを除いては、基本的に教職員が医療用医薬品を使用できない旨を保護者に伝え、理解を得るようにしてください。なお、教職員は介助者として児童生徒が処方薬を内服・吸入できるようにしましょう。

Q3 重度の食物アレルギー疾患があり、学校給食において除去食の対応が必要な場合、コンタミネーション（混入）の可能性について、保護者にどのように説明すればよいですか。

A3 学校または調理場は、除去すべき食物が調理の工程で混入する可能性があります。学

校給食を提供する関係者及び関係機関は、混入の可能性があるかどうかを見極め、可能性があると判断した場合には、その旨を保護者に説明し、安全性確保が第一であることに理解を得るようにしてください。